

「浦安市子育て支援総合計画」掲載事業 平成21年度進捗状況

平成22年度事業予定と今後の課題

1. 生き生きと子育てができるまち うらやす

地域での子育て支援サービスの充実

事業番号	1	事業名	保育園の整備	担当課	保育幼稚園課
計画内容	共働き、出産や病気、病人の介護などのため、家庭で保育ができない保護者に代わって、乳幼児を認可保育園で保育します。住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、計画的整備を進めるとともに、多様な保育サービスを提供するなどの充実に取り組みます。				
	平成15年度実績	10園		平成21年度目標	16園
平成21年度 実施状況と評価	高洲保育園に定員66人の増設設備工事を実施した。 (内訳) 1歳児クラス 9人 2歳児クラス 12人 3歳児クラス 15人 4歳児クラス 15人 5歳児クラス 15人  高洲保育園の増設設備工事を実施し、待機児童の解消に努めた。今後、元町地域に新たな保育園の開設を計画している。				
前期計画期間 を通しての 事業評価	平成17年度～21年度までに保育所を4園(定員490人)整備し、市内の保育園は15園となった。また高洲保育園に66人規模の施設を増設し、待機児童解消に努めたが、待機児童ゼロには至っていない。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	今後については、住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ計画的に保育所整備を進めていくことし、また、既存保育所の老朽化に伴う建替え・改修、多様な保育サービスの提供についても併せて検討する。				

事業番号	2	事業名	一時保育の拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	保護者がパートなどで週1～3日の範囲で断続的に働く、あるいは保護者が病気やケガなどで入院・通院するなど、一時的に昼間子どもの面倒を見ることができない場合に、子どもを認可保育園で保育します。生後4か月～未就学児を対象としています。				
	平成15年度実績	2ヶ所		平成21年度目標	5ヶ所
平成21年度 実施状況と評価	在宅子育て家庭の支援事業として一時保育を認可保育園6ヶ所で実施した。  平成22年3月末現在の利用状況(延人数) 東野保育園1,577人、高洲保育園1,850人、浦安駅前保育園1,514人、しおかぜ保育園1,769人、ポピンズナーサリー新浦安2,544人、弁天保育園1,627人  現在一時保育を開設している園は、平成21年度目標値の5ヶ所に達しているが、平成21年度に弁天保育園に増築工事をを行い、一時保育を開設した。				
前期計画期間 を通しての 事業評価	地域の子育て支援として、育児疲れの解消、急病や入院等に伴う一時的な保育又は親の就労形態の多様化等に伴う断続的な保育など、需要に応じた保育サービスを提供することにより福祉施設の増進を図ってきた。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	必要となきときに利用できる多様なサービスの整備及び子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から、今後も継続して実施する。 また、一時保育の希望者が多いことから、開設園や定員の増加について検討する必要がある。				

事業番号	3	事業名	乳幼児健康支援一時預かり(病後児保育)の拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	生後57日目から小学校3年生までを対象に、病気回復期のため、集団保育が困難な乳幼児の一時預かりを行います。				
平成21年度 実施状況と評価	<p>病後児保育事業の運営を、市内2ヶ所の保育施設（浦安中央病院・ポピンズナーサリー新浦安）で行っている。</p> <p>平成22年3月末現在、同事業の利用者は、延べ 291人で、施設別の利用者は、浦安中央病院 病後児保育室「ばんだルーム」で、延べ 233人の利用者があり、ポピンズナーサリー新浦安 病後児保育室「アクアルーム」では、延べ58人の利用者があった。</p> <p>平成18年6月からポピンズナーサリー新浦安に病後児保育事業の運営を開始したことにより、当事業の運営施設が市内2ヶ所になり、より充実した事業運営ができた。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	保育施設が2ヶ所となり、同保育を利用する利用者の利便性を含め選択の幅が広がった。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	病後児保育事業の保育施設が、2ヶ所あることにより、同保育を利用する利用者の利便性を含め選択の幅があり、また、預かる側の資質の向上も見込まれる。				

事業番号	4	事業名	エンゼルヘルプサービスの実施	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)				
計画内容	<p>保護者の出産や病気等であるにもかかわらず、まわりからの支援が見込めない未就学児を養育している家庭に対し、保護者に代わって家事や育児のお手伝いをするヘルパーを派遣します。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>派遣 延べ937件</td> <td>平成21年度目標</td> <td>派遣 延べ 2,000件</td> </tr> </table>					平成15年度実績	派遣 延べ937件	平成21年度目標	派遣 延べ 2,000件
平成15年度実績	派遣 延べ937件	平成21年度目標	派遣 延べ 2,000件						
平成21年度 実施状況と評価	<p>エンゼルヘルプサービスは母親が病気や出産で家事や育児ができない時や、夫や親などからの支援が充分に見込めない家庭に対し、保護者に代わって家事や育児の手伝いをしている。また、訪問コーディネーターとして配属された看護師による、利用者の健康不安への相談や指導などもきめ細かに実施している。</p> <p>料金やヘルパーの資質などに対する信頼感が増しており総合的な評価は非常に高く、若い世帯への子育て支援としてはたいへん有効であることが利用記録などから伺える。課題としては、産後の利用期間（2ヶ月程度）では自立が難しい母親も多くなってきていることや、外国人の世帯での生活習慣の違いや子育て考え方の違いなどもあり、柔軟な対応が求められている。子育てに対する不安から精神疾患を抱えてしまう母親も増えており、派遣されたヘルパーへは単純な家事援助だけでなく、疾病への理解や援助方法など検討し研修していくことも必要となってきている。</p> <p>延べ利用件数 1504件</p>								
前期計画期間 を通しての 事業評価	子育て支援の代表的なサービスの一つとして、利用件数は着実に伸びている。								
平成22年度 事業予定と 今後の課題	相談機関との連携を強化し、子育て支援を充実させていく。 ファミリーサポートセンターなど多様化する地域の子育て支援サービスとの連携。								

事業番号	5	事業名	幼稚園預かり保育の実施	担当課	保育幼稚園課					
計画内容	<p>公立幼稚園において、保護者の就労や傷病などによる入院、病気などで家庭の保育が困難になった園児を、幼稚園の教育時間終了後も家庭的な雰囲気の中で預かる預かり保育を行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>3園、各園の利用40人</td> <td>平成21年度目標</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> </table>					平成15年度実績	3園、各園の利用40人	平成21年度目標	継続	
平成15年度実績	3園、各園の利用40人	平成21年度目標	継続							
平成21年度 実施状況と評価	<p>市内3園（若草・舞浜・美浜北）で実施            実施日・時間：授業日の月～金曜日 午前8時～9時 午後2時00分～6時30分            長期休業日の月～金曜日 午前8時～午後6時30分            利用可能人数：各園とも50人            利用料金：月額5,000円または1日400円 別途おやつ・教材費100円            利用形態：通年利用、一時利用、1日利用</p> <p>基本的には対象が実施園に在園する園児であることから、1園については、定員一杯であるが、2園については、利用者の伸びが少ない。            20年11月から、一か月間の一日利用限度回数を現行4回から6回へ拡大し、保護者のニーズにより応えられるよう、改善を図った。            当事業は、保育園の入園が厳しいなかで、就労している方などへ向けた、子育て支援施策の一つとして着実に利用が伸びており、大きな役割りを果たしていると考えます。            平成22年3月末現在 3園合計延べ利用者 28,971人 3園平均利用率=81.3%(21年4月～22年3月)</p>									
前期計画期間を通しての 事業評価	<p>ホームページなどを通したお知らせ、各園の預かり保育利用に関するPRなどが功を奏した結果、利用率は年々上昇してきている。</p>									
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>22年度より北部幼稚園で新たに預かり保育を実施することとし、かつ、4つの実施園において朝7時30分からに預かり時間を拡大する。(21年度までは朝8時から)</p>									

事業番号	6	事業名	総合施設(幼稚園・保育所一元化)創設の検討	担当課	保育幼稚園課					
計画内容	<p>市における子育て環境の実態と課題を見極めつつ、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「総合施設」の具体策づくりに向けた検討を行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>-</td> <td>平成21年度目標</td> <td colspan="2">検討</td> </tr> </table>					平成15年度実績	-	平成21年度目標	検討	
平成15年度実績	-	平成21年度目標	検討							
平成21年度 実施状況と評価	<p>認定こども園については、平成20年度までの幼稚園や保育園の配置や入園状況などを分析するとともに、今後の需要推計を見込み、幼稚園や保育園、認定こども園について検討を行った。</p> <p>平成20年度までの幼稚園や保育園の入園状況などを基に分析を行っているが、保育園については、入園を希望する児童は増加していくものと見込まれ、今後も保育園の整備が必要である。また、幼稚園でも園児数は、ここ数年増加傾向にあり、3歳児保育も20年度は定員を各園40名として総定員を120名に、次いで21年度には実施園をさらに2園増やし総定員を200名としたが、依然として新入園児の申し込みも定員を上回っている状況である。</p> <p>このようなことから、幼稚園では空き教室の状況を踏まえ、まず3歳児保育又は預かり保育の拡充を進めていく必要がある。</p>									
前期計画期間を通しての 事業評価	<p>各先進自治体の状況を調査するなどして、効果等を研究した。22年1月には、品川区の認定こども園(五反田保育園)及び幼保一体施設(のびっこ台場)をそれぞれ訪問し、運営状況を視察した。</p>									
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後は、本市の幼稚園や保育園の状況や他市町村の動向も踏まえながら、さらに検討を進めていく必要がある。特に、市内の地域によって、必要とされる施設サービスが多様化してきており、引き続き、総合施設の研究・検討も継続して進めていきたい。</p>									

事業番号	7	事業名	児童育成クラブの整備・充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>昼間、保護者が留守になる家庭の小学校1～3年生（一部4年生）の児童と、療育手帳などの交付を受けている小学校1～6年生の児童を対象に、放課後や夏休みなどに保育を行います。運営については、運営委員会や法人などに委託し、児童の保護・健全育成活動を行っています。</p> <p>平成15年度実績   13クラブ、定員915人   平成21年度目標   21</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>市内17の児童育成クラブ(21施設)の運営を、公共的団体等に運営を委託している。(運営委員会10クラブ、民間事業者7クラブ) 市内全クラブの定員 1,720名に対し、現在の入会人数は、1,307名である。(平成22年3月31日現在) 入会数については、地域により差が生じている。</p> <p>今年度より、国や県が示しているガイドラインを参考に、本市の実情に合わせたガイドラインの策定に向けて、市民代表などを含めた検討会を立ち上げて協議をおこなっている。 20年度から21年度にかけて、児童の放課後における安全で快適な生活の場を提供するための基本的な方向性及び、運営についての有り方を示した「今後目指すべき浦安市の児童育成クラブ」策定した。 舞浜小学校地区児童育成クラブの入会児童数が増加している状況から、定員数を増加させるため施設建設を行った。22年4月1日開校の東野小学校内に、東野小学校地区児童育成クラブを新設した。 平成22年3月末現在 実績値 17クラブ 21施設 定員1,710人</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度～21年度までに新たに施設を整備し、現状の施設を改善したことにより、合計525人の定員増とした。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>平成21年度に策定した、「今後目指すべき浦安市の児童育成クラブ」を基に、児童の放課後における安全で快適な生活の場を提供するための基本的な方向性及び、運営についての有り方などを検討していく。</p>				

事業番号	8	事業名	こども家庭支援センターの機能強化	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)
計画内容	<p>地域で安心して子育てができる環境づくり、また児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応します。ひとり親家庭や婦人問題に関する相談、指導、支援事業も行います。</p> <p>平成15年度実績   1か所   平成21年度目標   1か所 参加者30名</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>保護を必要とする児童への対応に積極的に取り組むため、平成18年11月に「浦安市要保護児童対策地域協議会」を設置している。今年度からは児童福祉法の改正に伴い対象児童を要保護児童だけでなく「要支援児童」と「特定妊婦」を含め、関係機関による緊密な連携を図っている。また、より困難で幅広い事例に対応するための資質向上のため、児童相談所職員の任用資格講習会に職員を派遣した。 母子婦人の支援では、将来の就職や転職を目指す母子家庭を対象に基本的な事務能力の技能習得のためのパソコン教室など就労支援講座を開催した。 児童家庭相談については、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用することにより、保護を必要とする児童に対し関係機関との連絡調整、情報共有が幅広く図られた。 就労支援講座については参加者からの反響もよく、就労や転職に結びついているケースもある。(参加者 37名)</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>要保護児童対策地域協議会の枠組みがより強固なものになることで、保護を必要とする児童に対し関係機関との連絡調整、情報共有が幅広く図られている。 母子婦人相談については、ひとり親家庭ホームヘルプサービスが事務移管されたことで、具体的支援の選択肢が広がったこともあり、各講座の開催も併せ、多角的な支援が可能となっている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>要保護児童に対するケース数の増加や多様化、また、複雑化することにより、対応処理件数が増えている。このため、ケースワークに時間を費やされるためケース管理が厳しい状況にある。また、国への報告等も煩雑化していることから、ケース管理の再整備が必要と思われる。また、就労支援講座については、参加者が実際に就労に結びついたかの追跡調査を行っており、今後も就労や転職につながるよう更なる支援が必要である。</p>				

事業番号	9	事業名	地域子育て支援センターの拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	<p>子どもの健全な育成と子育て支援を目的に、子どもと保護者が自由に遊び、交流することができる場の提供、子育てについての相談や情報、学習の機会の提供を行います</p>				
	平成15年度実績	2カ所	平成21年度目標	6カ所	
平成21年度 実施状況と評価	<p>市内に7カ所ある地域子育て支援センターの運営は、1カ所は直営で、5カ所は民間委託で行っている。また、平成21年度に高洲保育園増設設備工事を行い、地域子育て支援センターを増設した。</p> <p>平成22年3月末現在の同事業の利用者数は、延べ32,908組で、浦安市子育て支援センター16,738組、各地域子育て支援センター別の延べ利用者数は、・海園の街保育園子育て支援センター4,077組・浦安駅前保育園子育て支援センター2,818組・入船北保育園子育て支援センター2,002組・しおかぜ保育園子育て支援センター1,261組・ポピンズナーサリー新浦安保育園子育て支援センター3,030組・弁天保育園子育て支援センター2,982組です</p> <p>市内に7カ所（直営1ヶ所・委託6ヶ所）の地域子育て支援センターが設置されたことにより、子育て家庭の交流の場、子育てに関する相談・情報提供の場として、充実した子育て支援ができました。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>市内に子育て支援センターが3カ所から7カ所に増設されたことにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の幅が広がり、利用者も増加した。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>市内に子育て支援センターが7カ所（直営1ヶ所・委託6カ所）あることにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の幅があり、また、子育て支援センターを運営する側の資質の向上も見込まれる。</p>				

事業番号	10	事業名	ファミリー・サポート・センターの充実	担当課	こども家庭課
計画内容	<p>育児の支援を受けたい市民と育児の支援をする市民などからなる地域の相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの充実を図り、市民参加に基づく子育て支援を推進します。</p>				
	平成15年度実績	派遣 延べ 2,523件	平成21年度目標	充実	
平成21年度 実施状況と評価	<p>運営については、浦安市社会福祉協議会へ委託している。 21年度（平成21年12月末日現在）会員数 1,834名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おねがい会員 1,405名</li> <li>・まかせて会員 190名</li> <li>・どっちも会員 239名</li> </ul> <p>主な活動内容 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり、学童保育の送り迎え及び帰宅後の預かり、保護者等の買い物等外出の場合の援助、保育所・幼稚園の送り迎え、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気、その他急用の場合の援助など。</p> <p>昨年度同時期1,619名に比べて、会員数が215名増加している。 (増加数:おねがい会員 163名、まかせて会員 31名、どっちも会員 21名) 制度の周知が進み、浸透している成果だと思われる。援助の担い手である「まかせて会員」については、おねがい会員に比べると伸び悩んでいるが、子育て・家族支援者養成講座修了生が多数登録あり。今後も、会員の確保に努めて行く。 また、拡充事業として新生児、宿泊保育を開始した（特別まかせて会員の導入）特別まかせて会員の登録が少ないため現在登録している人のみに周知し実施した。（活動実績 新生児預かり20件、宿泊預かり1件）</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>計画当初より会員数も増加し、制度の周知が進み、浸透している成果だと思われる。また、拡充事業として新生児、宿泊保育を開始し、利用も増えている。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく。また、拡充として実施した、新生児、宿泊預かりのほか、病後児預かりを行う。</p>				

事業番号	11	事業名	保育園園庭開放の充実	担当課	保育幼稚園課
計画内容	<p>地域に住んでいる在宅の子育て中の親子を対象に認可保育園を定期的に開放し、遊びへの参加（園庭遊び、季節の遊び、行事参加）を支援します。</p> <p>平成15年度実績   7園、子ども参加者 985人   平成21年度目標   15園</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>認可保育園では、月2回程度、地域に住んでいる方を対象として園庭開放を実施し、地域の子育て家庭に対する支援を行った。また、園庭開放以外に園内ホールを開放しての紙芝居や人形劇も行う園もあり、その他、運動会等の行事にも参加を呼びかけた。なお、公設民営の保育所においても、一部園庭開放を実施した所もあった。</p> <p>近年、本市は転入転出者が多く見られ、転入してきたばかりの方は同年齢の親や子との交流が難しく、この園庭開放を通じて知り合うことも多いことから参加者からは好評である。</p> <p>平成22年3月末 実施園数 10園</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>地域の親子と保育園の子ども達が一緒に遊び、ふれあう時間を過ごせたことは、在宅の乳幼児の子育て支援につながった。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>在宅の乳幼児を含めた子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から継続して実施する。また、地域における保育需要に対応するため、公立に限らず公設民営や私立保育所でも実施することとする。</p>				

事業番号	12	事業名	幼稚園子育てすこやか広場の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	<p>地域の親子の触れあい、語りあい、認めあいを促進し、同時に親同士の情報交換の場づくりに向けて、幼稚園の施設を開放します。</p> <p>平成15年度実績   15園、開催202回、子ども参加8,179人   平成21年度目標   14園 開催360回 子ども参加18,000人</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>開催園：市立幼稚園全園（14園）で実施 対象者：にこにこランド... 0歳～未就学児とその保護者対象 わくわくランド... 21年度幼稚園入園予定の3歳児とその保護者対象 実施内容：10：00から11：30実施（その後幼稚園の許可を得て園庭開放12：00まで） 延べ開催日数（5月開始3月末現在）：にこにこランド190回・わくわくランド168回 延べ参加人数（3月末現在）：にこにこランド5,750人・わくわくランド5,104人 保育カウンセラーの配置：各幼稚園（月1～2回） 延べ相談件数（5月から3月末現在）1,523件</p> <p>核家族化の中、子育てに不安や負担感を感じる保護者に、相談や情報提供の充実のための支援として、地域の幼稚園を解放し実施している。各幼稚園では遊びや交流を通し、躰にかかわる生活指導を行ったり、親子のふれあい、親子同士の交流、幼稚園児との交流から、保護者（主に母親）が子育ての楽しさを共有したりする場として年間計画を立て、内容の充実が図られている。また、保育カウンセラーの配置により、相談事業の充実が図られた。3才児保育が実施し、開催数は減少しているが、参加者数は変わらず、子育て中の保護者からは大いに評価されている。特に転入者の多い地域の幼稚園はその結果が顕著である。課題は、1回の参加者が多い園及び3才児保育実施園での運営方法の改善の必要性がある。</p> <p>平成22年3月末現在 14園、開催387回、子ども参加 13,000人</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度392回、平成18年度399回、平成19年度417回と、年々開催数を増やしていった。それに伴い、参加者数も増加した。平成20年度より、3年保育実施園が3園、平成21年度より5園となり、開催数は減少に転じたが、事業目的を遂行する為にも、今後開催数を増やす方向にある。</p> <p>また、平成18年度より、臨床心理士等専門資格をもった保育カウンセラーを配置することにより、相談機能が充実した。軽易な相談から重たい相談まで対応し、幼稚園及び関係機関との連携もスムーズに行えるようになり、着実に成果を上げている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>参加者のニーズに答えられるよう、実施日及び実施回数検討、活動の充実、相談事業の拡充の3点を進めているところである。</p> <p>とについては、各幼稚園と実態に合わせ検討準備中である。特に3才児保育実施園が3園から5園に増えることにより、わくわく広場の実施回数及び参加者数が減っているところから、運営の仕方に改善が必要である。逆に3年保育実施園以外は、例年以上の参加者が見込まれるため、内容の充実に努める必要がある。</p> <p>については、平成18年度から「保育カウンセラー」を各幼稚園に月1～2回配置し、相談事業の充実に努めた。また、相談数が多い大規模幼稚園等は、平成22年度は、必要に応じ配置日数を増やしていく必要がある。</p>				

事業番号	13	事業名	児童センター(児童館)の充実	担当課	こども家庭課 (児童センター)
計画内容	地域における子育て中の親の交流や相談、さらには子どもたちの交流等の場であり、親子対象、子ども対象などの各種の事業を展開しています。				
	平成15年度実績	延べ 15,499人	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>1.乳幼児と保護者を対象にした子育て家庭の支援事業として、「赤ちゃんサロン」や「フルーツポンチ」などを実施し、子育ての情報交換の場の提供と、ふれあい遊び等をおして、家庭と地域の子育て機能を高め、育児不安の軽減と健やかな育ちのための支援を実施した。さらに、子育てサークルの育成を目的に「マシュマロクラブ」を実施し、親自身が自主的に子どもとの関わりが深められ、健やかな成長が図れるように、活動の企画運営をサポートした。 22年度3月末実施事業数 798回・参加者33,963人</p> <p>2.小学生を対象にした子どもの健全育成事業は、料理教室、工作教室などの創作活動をはじめ、一輪車教室、スポーツクラブ、ドッジボール大会など体力増進活動や、あそび冒険隊、オセロ大会、こども祭りなど体験交流活動を継続実施した。また、ボランティアの育成を目的とした「キッズスタッフ」の活動や地域ボランティアとの連携を図った夏祭りやクリスマス会を実施した。 22年度3月末実施事業数 961回・参加者 22,927人</p> <p>子育て家庭の支援事業は、子育ての情報交換の場の提供と、ふれあい遊び等をおして、家庭と地域の子育て機能を高め、育児不安の軽減と健やかな育ちのための支援をした。子どもの健全育成事業は、創作活動をはじめ、体力増進活動、体験交流活動を継続実施した。ボランティアの育成を目的とした「キッズスタッフ」の活動や地域ボランティアとの連携を図った。</p> <p>平成22年3月末現在 延58,286人</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	乳幼児と保護者を対象にした子育て家庭の支援事業については、来館者数からみても増加した。 小学生を対象にした子どもの健全育成事業は、応募型自主事業を中心に展開し来館者数を促進した				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	こどもたちが、のびのびと「集い」「学び」「語らい」「あそぶ」ことのできる広場を提供する。小学校低学年の留守家庭児童を対象に、放課後における居場所として施設を提供する。遊びをおした子どもの育成を促進できるよう「出前型児童館」の事業展開と、地域における子育て環境を醸成できるよう「児童センターまつり」等の事業を通じて子どもたちや地域住民の社会参加、子育て支援活動団体との連携による自主事業の展開を図るとともに地域が協働して、こどもたちがいきいきと育つことのできる環境を図る。				

事業番号	14	事業名	児童館の整備	担当課	こども家庭課
計画内容	児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、また、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供等を行う児童館の整備を検討します。				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	検討	
平成21年度 実施状況と評価	(仮称)高洲公民館内複合施設に小型児童館を併設する実施設計が終わり、平成21年度・22年度の継続費を組み建設工事が始まった。				
前期計画期間 を通しての 事業評価	市内2ヶ所目の児童館として、児童が自由に遊べる場を提供し、子育て中の親子の交流や子育て相談を行う場として、整備することができた。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	完成が平成22年3月、施設オープンは7月予定。				

事業番号	15	事業名	保育園子ども相談の充実		担当課	保育幼稚園課
計画内容	身近な地域における相談の場づくりとして、認可保育園における子育ての悩みや心配ごと等の相談の充実を図ります。					
	平成15年度実績	2園	平成21年度目標	7園		
平成21年度 実施状況と評価	<p>育児の悩みや心配事について、子育ての専門知識を有する保育士により電話相談を実施し、公立保育所7園で対応した。</p> <p>全園、専用電話を設置し主に園長が対応している。周知は毎月の広報うらやすやHPに掲載しているところであるが、現在のところ利用者は少ない状況となっている。</p>					
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>保育園が有する保育士、看護師、栄養士などの専門的な知識を活かし、子育てで悩む保護者を支援するために、気軽に利用できる電話相談を行なうことは、子育て支援の意義としては大きいと認識しているが、利用者が少ないため、今後も周知を図っていく必要がある。</p>					
平成22年度 事業予定と 今後の課題	在宅の乳幼児を含めた子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から継続して実施する。					

事業番号	16	事業名	家庭児童相談、母子・婦人相談の充実		担当課	こども家庭課 (子ども家庭支援センター)
計画内容	各機関において悩みや心配ごと等の相談を実施します。相談者の生活等への解決に向け、必要な資源やサービスの紹介、フォローの実施などに積極的に取り組むとともに、機関相互の連携の充実にも取り組みます。					
	平成15年度実績	家庭児童相談延 1,824回 母子・婦人相談延 797回	平成21年度目標	充実		
平成21年度 実施状況と評価	<p><b>実施状況</b></p> <p>家庭児童相談は代表者会議、実務者会議、個別支援会議により組織される浦安市要保護児童対策地域協議会を中心に対応を行っている。代表者会議は2回開催し、協議会の円滑な運営ができるような環境の整備を図るための協議を行った。実際に活動する実務者から構成される実務者会議は毎月開催し、協議会が所管する事例を総合的に把握、進行管理を行った。個別支援会議は個別の要保護児童の支援に直接関わっている関係機関の担当者が集まり、必要に応じ随時行っている。</p> <p>母子・婦人相談については、自立に必要な支援は母子自立支援員を中心に、家庭環境や生活面などは必要に応じて家庭相談員を含めて相談にあたっており、具体的支援の構築を含めた助言を行っている。</p> <p><b>評価</b></p> <p>児童家庭相談については、要保護児童対策地域協議会の機能が関係機関にも浸透し、要保護児童の情報が調整機関であるこども家庭支援センターに集約できるようになってきた。また、市町村が市民から直接児童虐待の通報を受け付けることで、ケースによっては通告を基に対象家庭に直接訪問し、状況を確認する事例も多くなっている。</p> <p>また、母子・婦人相談では相談業務として施策の紹介をするだけでなく、ひとり親ホームヘルパー派遣事業など、実際の利用の可否の判断をした上で提案、助言を行っている。</p> <p>平成21年度相談件数実績 家庭児童相談延 10,092回、母子・婦人相談延 1,324回</p>					
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>核家庭世帯の増加や経済状況の急激な変化など過程を取り巻く様々な環境が変化中、身近に親族など支援者のいない家庭や、経済的な困窮を抱える母子家庭も増加傾向にあり、そういった家庭に適切な支援の選択肢を提示、助言することが可能となっている。</p>					
平成22年度 事業予定と 今後の課題	ケースの多様化・複雑化により、対応処理件数が増えているため、ケースワークに時間を費やす現状があり、効率的なケース管理、他機関との役割分担が課題である。また、家庭児童相談については、児童家庭相談の中心が市町村になったことにより、国への報告等は煩雑化している。					

事業番号	17	事業名	母子保健推進員活動		担当課	健康増進課
計画内容	母子保健推進員は、子育てしている家庭と行政のパイプ役となり、母子保健サービスの紹介や同じ地域に暮らす身近な存在として、子育ての相談に応じています。生後3～4か月頃に家庭訪問を行い、心配事の多い家庭については保健師に連絡し、継続的な支援につなげたり、ほのぼのタイムなど母子保健事業への協力なども行います。					
	平成15年度実績	家庭訪問 1,580件、ほのぼのタイム活動者 364人、推進員 34人	平成21年度目標	継続		
平成21年度 実施状況と評価	母子保健推進員は、母子保健サービスの紹介や同じ地域で過ごす身近な存在として子育ての相談を聞くことにより、子育てをしている家庭と行政のパイプ役として、子育てに関する不安の軽減に努める。委嘱期間は2年間。2～3か月児のいる家庭への訪問活動や母子保健事業への協力も行っている。定例会は月に1回（8月は除く）行っている。 全戸に訪問することにより状況を把握できるとともに、様々な母子保健サービスの情報提供も行われ、事業への参加に結びついている。 平成22年3月末現在 実績値 家庭訪問1,454件、推進員34名、ほのぼのタイム等活動者282人					
前期計画期間を通しての事業評価	母子保健推進員の主な活動の家庭訪問は訪問率が85%前後で推移している。訪問を始めとする母子保健推進員活動の周知も図られてきている。 また、地域の子育て経験者として話し相手、見守り、手遊びの実演など協力を得母親同士の輪になかなか入れない方へ、共通の話題を提供したり集いの場で孤立しないよう見守ることによる子育て支援ができています。					
平成22年度事業予定と今後の課題	母子保健推進員の主体的な活動を促すため、定例会担当・研修会担当・ほのぼのタイム担当（母子の友達作りの場・情報交換の場）等、委員会制にして積極的な自主活動を支援していく。					

事業番号	18	事業名	インターネットによる育児に関する情報提供の充実		担当課	関係各課
計画内容	育児に関する必要な情報を入手できる方法を拡大するため、市のホームページなどを活用した育児に関する情報提供を行います。情報の更新、新規情報の追加など、情報提供の充実に図ります。					
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	充実		
平成21年度 実施状況と評価	育児中の保護者が、子育てに関する市のサービス等の情報を入手する手段として、インターネットは有用であるという考え方から、近隣市や都内自治体の子育てサイトについての情報収集を実施。現行の市のホームページの子育て情報では、コンテンツ配列などに限界があり、利用者が必要とする情報にアクセスしにくいと、広聴広報課・情報政策課などと調整、子育て支援単体のホームページを作成することも検討した結果、現在の市のホームページの内容を整理した。ホームページの整理はされたものの、やはりさらなる充実は必要と思われる。又、地域メディア研究会を実施し、民間、NPO、市と協働の研究会議を重ね、今後のあり方について検討した。					
前期計画期間を通しての事業評価	子育て支援単体のホームページを作成することも検討したが、従来の市ホームページの内容を整理することにより単体のホームページは見送った。					
平成22年度事業予定と今後の課題	市のホームページ担当などと連携を取りつつ、今後もわかりやすい情報提供に向けて取り組みを進めていきたい。					

さまざまな保育サービスの展開と充実

事業番号	19	事業名	延長保育の充実	担当課	保育幼稚園課				
計画内容	<p>延長保育が必要と認められる子どもに対し、早朝及び夕方の延長保育を認可保育園にて実施します。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>9園</td> <td>平成21年度目標</td> <td>15園</td> </tr> </table>					平成15年度実績	9園	平成21年度目標	15園
平成15年度実績	9園	平成21年度目標	15園						
平成21年度 実施状況と評価	<p>平成18年度より認可保育所15園において、平日7時から19時までの12時間保育を実施し、土曜は7時から16時までとした。公設民営の2園は、土曜の開所時間を19時まで延長した。また、私立保育所2園は、平日19時以降も有料にて実施している。</p> <p>就労形態の多様化等への対応から、平成18年度に開園した私立保育所1園は20時まで、私立保育園1園は22時まで、と延長保育を実施しており、従来からの私立保育所1園は、平成18年度から公立の開所時間に合わせて延長保育を行ったところである。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成22年3月末実績</td> <td>15園</td> </tr> </table>					平成22年3月末実績	15園		
平成22年3月末実績	15園								
前期計画期間を通しての 事業評価	<p><b>多様な就労形態に対応するため、全ての保育園で延長保育を実施したことにより、保育ニーズの拡大を図ることができた。</b></p>								
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>保護者の就労形態の多様化から延長保育を望む声も多く、今後も継続して実施する。</p>								

事業番号	20	事業名	一時保育の拡充(再掲)	担当課	保育幼稚園課				
計画内容	<p>保護者がパートなどで週1～3日の範囲で断続的に働く、あるいは保護者が病気やケガなどで入院・通院するなど、一時的に昼間子どもの面倒を見ることができない場合に、子どもを認可保育園で保育します。生後4か月～未就学児を対象としています。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>2ヶ所</td> <td>平成21年度目標</td> <td>5ヶ所</td> </tr> </table>					平成15年度実績	2ヶ所	平成21年度目標	5ヶ所
平成15年度実績	2ヶ所	平成21年度目標	5ヶ所						
平成21年度 実施状況と評価	<p>在宅子育て家庭の支援事業として一時保育を認可保育園6ヶ所で実施した。</p> <p>平成22年3月末現在の利用状況(延人数)  東野保育園1,577人、高洲保育園1,850人、浦安駅前保育園1,514人、しおかぜ保育園1,769人、ポピンズナーサリー新浦安2,544人、弁天保育園1,627人</p> <p>現在一時保育を開設している園は、平成21年度目標値の5ヶ所に達しているが、平成21年度に弁天保育園に増築工事を行い、一時保育を開設した。</p>								
前期計画期間を通しての 事業評価	<p><b>地域の子育て支援として、育児疲れの解消、急病や入院等に伴う一時的な保育又は親の就労形態の多様化等に伴う断続的な保育など、需要に応じた保育サービスを提供することにより福祉施設の増進を図ってきた。</b></p>								
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>必要なときに利用できる多様なサービスの整備及び子育て支援の充実等の施策の総合的な展開を図る観点から、今後も継続して実施する。</p> <p>また、一時保育の希望者が多いことから、開設園や定員の増加について検討する必要がある。</p>								

事業番号	21	事業名	休日保育の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	市民の保育ニーズに対応するため、認可保育園での休日・夜間保育の実施について検討します。				
	平成15年度実績	無	平成21年度目標	1園	
平成21年度 実施状況と評価	平成19年5月3日より「ポピンズナーサリー新浦安」において、休日保育を開始した。 平成22年3月末現在の利用状況（延人数） 262名 休日保育の周知が図られ、昨年度比33.7%の利用者が増加した。				
前期計画期間 を通しての 事業評価	保護者の利用状況等を見極め、休日保育の充実に努めた。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	就労形態の多様化等に対応するため多様なサービスの整備を図る必要があり、今後も継続して検討する。				

事業番号	22	事業名	乳幼児を持つ母親等の学習権保障のための保育の実施	担当課	各公民館		
計画内容	乳幼児を持つ母親等の学習権保障に向け、公民館が主催する事業等については保育サービスの提供を行います。						
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続			
平成21年度 実施状況と評価	公民館主催事業で保育付きの事業を実施						
		中央	堀江	富岡	当代島	美浜	日の出
	実施件数	65	21	15	16	6	22
	保育対象年齢	6ヶ月以上未就学児					
	保育対象人数	MAX20人	10人程度	8~20人	10人程度	6~10人	6~10人
	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものと考えられる。受講者からも「保育があることで、自分の時間を持つことができよかった」などという声が多い。						
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>*中央公民館 保育付きの講座は人気も高く、受講者からの要望も多いです。いまや、乳幼児を持つ保護者の学習の場としてだけでなく交流・情報交換の場としても広く受け入れられているようです。</p> <p>*堀江公民館 保育付きの講座は乳幼児をもつ保護者の人気が高く、また情報交換の場としても広く受け入れられています。</p> <p>*富岡公民館 保育付きの講座は需要が高く、応募数も年々上がってきています。このような講座を設けていくことにより、乳幼児を持つ保護者に対し学習の場及び情報交換の場を提供するといった意味でも重要であると思います。</p> <p>*当代島公民館 『「いつでも」・どこでも・「だれでも」・なんでも』学ぶことができる環境整備のため、子育て中の保育を希望する方にとっては、保育付きの事業は欠かすことができないものである。</p> <p>*美浜公民館 保育付きの講座は乳幼児をもつ保護者の人気が高く、また情報交換の場としても広く受け入れられている。</p> <p>*日の出公民館 乳幼児を持つ保護者の学習への関心を喚起し、また、学習意欲を満たすためにも保育は不可欠であり、保育付きの講座の開設は今後も高いニーズがあるものとする。</p>						
平成22年度 事業予定と 今後の課題	保育付きの事業を実施することにより、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会をもつことができるようになる。また、保育を受ける子どもたちにとっては、遊びを通して集団で過ごすことにより、自立・発達・成長する機会になる。これらのことから、主催事業の受講対象者や開催時間帯を考慮しながら、22年度以降も引き続き実施したい。						

事業番号	23	事業名	保育サービス評価事業の実施	担当課	平成20年度 青少年課に移管 (社会福祉課)
計画内容	<p>事業所のサービス向上及び福祉サービス選択時に市民が事業所の情報が得られるようにサービス事業者による自己評価を実施します。 また、利用者評価を実施し、事業所の更なるサービス向上を目指します。</p>				
	平成15年度実績	認可保育園10園、児童育成クラブ13クラブ	平成21年度目標	認可保育園16園、児童育成クラブ17クラブ	
平成21年度 実施状況と評価	<p>内 容：事業者自己評価及び利用者調査の実施 対 象：事業者自己評価：児童育成クラブ17クラブ 利用者調査：対象事業者を利用する全世帯(合計約1370世帯)</p> <p>平成21年度は、児童育成クラブにおいて福祉サービス評価を実施した。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>事業者自己評価及び利用者調査おこなったことにより、事業者のサービスの向上に努めた。また、調査結果を公表することで、サービス利用の検討材料を示すことができた。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>平成22年度も継続実施。アンケート項目や実施時期を検討し、評価内容の実効的な活用を図る。</p>				

事業番号	24	事業名	こども家庭支援センターの機能強化(再掲)	担当課	こども家庭課 (こども家庭支援センター)
計画内容	<p>地域で安心して子育てができる環境づくり、また児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応します。ひとり親家庭や婦人問題に関する相談、指導、支援事業も行います。</p>				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	1か所	参加者30名
平成21年度 実施状況と評価	<p>保護を必要とする児童への対応に積極的に取り組むため、平成18年11月に「浦安市要保護児童対策地域協議会」を設置している。今年度からは児童福祉法の改正に伴い対象児童を要保護児童だけでなく「要支援児童」と「特定妊婦」を含め、関係機関による緊密な連携を図っている。また、より困難で幅広い事例に対応するための資質向上のため、児童相談所職員の任用資格講習会に職員を派遣した。</p> <p>母子婦人の支援では、将来の就職や転職を目指す母子家庭を対象に基本的な事務能力の技能習得のためのパソコン教室など就労支援講座を開催した。</p> <p>児童家庭相談については、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用することにより、保護を必要とする児童に対し関係機関との連絡調整、情報共有が幅広く図られた。</p> <p>就労支援講座については参加者からの反響もよく、就労や転職に結びついているケースもある。(参加者 37名)</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>要保護児童対策地域協議会の枠組みがより強固なものになることで、保護を必要とする児童に対し関係機関との連絡調整、情報共有が幅広く図られている。</b></p> <p>母子婦人相談については、ひとり親家庭ホームヘルプサービスが事務移管されたことで、具体的支援の選択肢が広がったこともあり、各講座の開催も併せ、多角的な支援が可能となっている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>要保護児童に対するケース数の増加や多様化、また、複雑化することにより、対応処理件数が増えている。このため、ケースワークに時間を費やされるためケース管理が厳しい状況にある。また、国への報告等も煩雑化していることから、ケース管理の再整備が必要と思われる。また、就労支援講座については、参加者が実際に就労に結びついたかの追跡調査を行っており、今後も就労や転職につながるよう更なる支援が必要である。</p>				

事業番号	25	事業名	地域子育て支援センターの拡充(再掲)	担当課	保育幼稚園課
計画内容	<p>子どもの健全な育成と子育て支援を目的に、子どもと保護者が自由に遊び、交流することができる場の提供、子育てについての相談や情報、学習の機会の提供を行います</p>				
	平成15年度実績	2か所	平成21年度目標	6か所	
平成21年度 実施状況と評価	<p>市内に7ヶ所ある地域子育て支援センターの運営を、1ヶ所は直営で、6ヶ所は民間委託で行っている。また、平成21年度に高洲保育園増設設備工事を行い、地域子育て支援センターを増設した。</p> <p>平成22年3月末現在の同事業の利用者数は、延べ32,908組で、浦安市子育て支援センター16,738組、各地域子育て支援センター別の延べ利用者数は、・海園の街保育園子育て支援センター4,077組・浦安駅前保育園子育て支援センター2,818組・入船北保育園子育て支援センター2,002組・しおかぜ保育園子育て支援センター1,261組・ポピンズナーサリー新浦安保育園子育て支援センター3,030組・弁天保育園子育て支援センター2,982組です</p> <p>市内に7カ所（直営1ヶ所・委託6ヶ所）の地域子育て支援センターが設置されたことにより、子育て家庭の交流の場、子育てに関する相談・情報提供の場として、充実した子育て支援ができました。</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p><b>市内に子育て支援センターが3カ所から7カ所に増設されたことにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の幅が広がり、利用者も増加した。</b></p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>市内に子育て支援センターが7カ所（直営1ヶ所・委託6カ所）あることにより、同施設を利用する利用者の利便性を含み選択の幅があり、また、子育て支援センターを運営する側の資質の向上も見込まれる。</p>				

事業番号	26	事業名	つどいの広場の拡充	担当課	保育幼稚園課
計画内容	<p>主に0～3歳児とその保護者を対象に、利用者が相互に楽しく交流し、遊び、学び、ささえあう場所として、つどいの広場を開設しています。民間との協働による運営をもとに、地域に根ざした広場を目指します。</p>				
	平成15年度実績	1か所、延べ840人	平成21年度目標	3か所	
平成21年度 実施状況と評価	<p>0～3歳児とその保護者を対象に、利用者が相互に楽しく交流し、遊び、学び、支えあう場所として「堀江つどいの広場」「明海つどいの広場」において事業を実施した。</p> <p>開所日数及び利用人数は、次のとおりです。</p> <p>（堀江つどいの広場）  開所日数：254日（3月末現在）  延利用人数：8,265人（3月末現在）</p> <p>（明海つどいの広場）  開所日数：257日（3月末現在）  延利用人数：9,088人（3月末現在）</p> <p>堀江つどいの広場に加え、平成19年度に「明海つどいの広場」を開設したことにより、2か所目の整備をすることができた。今後は、3ヶ所目の整備について、検討している。</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p><b>利用者が相互に楽しく交流し、遊び、学び、支えあう場として活用された。</b></p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>「堀江つどいの広場」に加え、平成19年度新たに明海地区に開設した「明海つどいの広場」において「つどいの広場」事業を継続していく。</p> <p>また、平成21年度目標値は3か所であるが、平成23年度開所予定の私立保育所に地域子育て支援センターを併設することから、今後の新たな拡充は、当分の間、見合わせる。</p> <p>地域子育て支援センターが、平成21年度で6箇所あり、高洲保育園と堀江に新設する私立保育園にも設置するので、計8箇所となる。</p> <p>地域ごとに集える支援センターが充実してきたため、つどいの広場事業の必要性を含めて、今後、検討する必要がある。</p>				

事業番号	27	事業名	児童館の整備(再掲)	担当課	こども家庭課
計画内容	児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、また、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供等を行う児童館の整備を検討します。 平成15年度実績   1か所   平成21年度目標   検討				
平成21年度 実施状況と評価	(仮称)高洲公民館内複合施設に小型児童館を併設する実施設計が終わり、平成21年度・22年度の継続費を組み建設工事が始まった。				
前期計画期間 を通しての 事業評価	市内2ヶ所目の児童館として、児童が自由に遊べる場を提供し、子育て中の親子の交流や子育て相談を行う場として、整備することができた。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	完成が平成22年3月、施設オープンは6月予定				

事業番号	28	事業名	多世代交流事業の実施	担当課	保育幼稚園課 青少年課
計画内容	健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。 平成15年度実績   認可保育園 3園   平成21年度目標   7園 児童育成クラブ 10か所				
平成21年度 実施状況と評価	<p><b>(保育幼稚園課)</b>          公立保育所において、市内小中学校及び高校の社会体験活動の場として提供した。(年2回程度実施)</p> <p>地域交流事業の一環として、中高校生等が乳幼児と触れ合い、子どもを育てることの大変さや喜び等をより理解を深めることができた。          平成22年3月末現在 認可保育園7園にて実施</p> <p><b>(青少年課)</b>          子どもの日常生活から、高齢者の方々と交わる場面が失われていることから、児童育成クラブの児童と地域の老人クラブの方々との交流を図った。交流事業にかかる運営を、各運営委員会等に委託し実施し、入船南、南、富岡、舞浜小学校地区児童育成クラブが、昔あそび(折り紙、おはじき、けんだま等)を通して地域の老人クラブとの交流を図った。</p> <p>高齢者と子どもがふれあう機会が少なくなっていることから、本事業は重要な事業である。次年度以降も継続して実施していきたい。          平成22年3月末現在 児童育成クラブ 4か所にて実施</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>(保育幼稚園課)</b>          健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会でのさまざまな活動や体験を通じて、豊かな人間性を育成するための場を提供することは、重要事項である。</p> <p><b>(青少年課)</b>          高齢者と子どもがふれあう機会が少なくなっていることから、高齢者の生きがいの確保及び、子どもの経験の取得に努めた。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p><b>(保育幼稚園課)</b>          健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会でのさまざまな活動や体験を通じて、豊かな人間性を育成するために、今後も継続して実施する。</p> <p><b>(青少年課)</b>          最近、世間で子どもを狙う様々な事件が起きていることや、不審者情報も頻繁に流れる状況を考えると、地域の高齢者との交流は重要となる。民間委託クラブが独自に実施している交流活動と重複するクラブもあり、実施回数について、老人クラブとの調整を図る必要がある。</p>				

事業番号	29	事業名	子育てサロン活動の実施	担当課	社会福祉協議会
計画内容	<p>支部社協の活動の一環として、推進しているサロン活動の中で高齢者とともに子育て中の親同士の情報交換、友だちづくりを進める住民主体の活動の場として、子育てサロンの活動を支援します。</p> <p>平成15年度実績   0箇所   平成21年度目標   継続</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>支部社協活動において、子育て中の親同士の情報交換・交流を目的として、地域のニーズにあわせ小地域単位で幅広く展開している。</p> <p>実施支部：9支部（全10支部）  地域：16箇所  （当代島・猫実・北栄・堀江・富士見・海楽・今川・富岡・入船6箇所・日の出・明海）  回数：各地区トータル延べ62回（今後予定も含む）</p> <p>昨年比で実施地域が1箇所増え、回数も11回増えている。気軽に新規の親子でも参加できる雰囲気を大事にして活動している。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度から比較すると、4支部・8箇所、52回（見込）の増となっていて、地域の広がりを見せています。身近に住んでいる方同士が知り合いになることとあわせて、同じ地域のボランティアの方々とのつながりができることも、子育て世代の親の孤立予防として良い効果としてできています。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>場所・回数はニーズに応じて増えている。デイリーな開催ではないが、社会福祉協議会の特色が出せるよう地域のボランティアが中心となり、幅広い地域での展開を進め、今後も市内における子育て支援のひとつとして実施していきたい。</p>				